

県民の友

発行/和歌山県 知事公室 広報公聴課 〒640-8501 和歌山市小松原通1の1 ☎0734(32)4111 №591

昭和62年
11月号

和歌山カトリックボランティアの皆さん。会員は67人。お年寄りを訪問し、爪切りやお話し相手、読書など身の回りのお世話をしています。

北出賀江子さんはグループのリーダー。ボランティア歴24年。

「つらいこともあります。苦勞も

元気だったあ

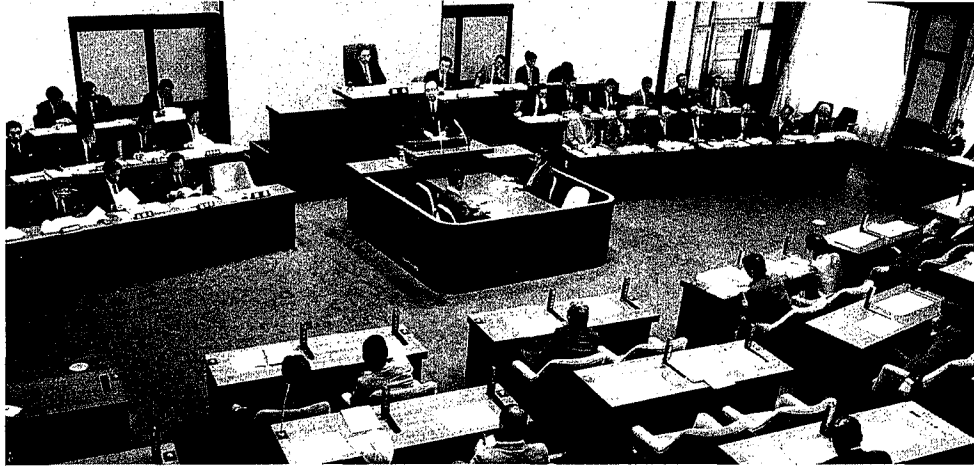
あります。でも訪れる度、お年寄りのうれしそうな顔を見るとそんなことはみんな忘れてしまいます。『また来てな』と言われると元氣が出ます。

『してあげる』ではなく、『さしてもらう』でもなく、自然にお付き合い。これが一番大切なことです。」



九月
補正予算

一般会計 一八七億一千六百余万元、
特別会計 七億八千余万元を可決



九月定例会は、九月九日から九月二十五日までの十七日間にわたって開催され、昭和六十二年一般会計補正予算案をはじめ、和歌山県立医科大学大学院設置及び管理條例の一部を改正する条例など十三議案が原案どおり可決されました。

また、任期満了に伴う教育委員会の委員一人の任命についても同意されました。

また、「第十次道路整備五カ年計画の投資規模確保等に関する要望決議」並びに「教育費国庫負担制度に関する意見書」が議決され、それぞれ関係機関に送付されました。なお、昭和六十一年度県公営企業決算の審査を行うため特別委員会が設置され、閉会中の継続審査とするとともに委員の選任が行われました。

本会議では、知事から提案理由の説明がなされた後、十二人の議員が質問に立ち、第四次全国総合開発計画（四全総）と第四次長期総合計画の推進、関西国際空港関連対応策、関西国際空港と和歌山との交通アクセス、紀勢本線の新大阪駅乗り入れ、紀の川水問題、和歌山マリーナシティ、原子力発電所問題、企業誘致対策、中小企業振興と雇用問題、紀南地方の振興策、赤潮対策、婦人問題、老人対策、B型肝炎対策、アスベスト公害対策、障害者福祉など県政全般にわたり活発な論議が交わられました。本会議での知事の提案理由の説明並びに質疑・一般質問の中で、特に、関西国際空港と和歌山との交通アクセスの問題についての答弁は次のとおりです。（いずれも一部抜す）

知事説明要旨

最近の県政の動きに係る部分を抜す

高速交通網の整備促進について

は、南紀白浜空港のジェット化整備事業が63年度政府予算の概算要求に盛り込まれており、また、紀勢本線の特急「くろしお号」の新大阪駅乗り入れについても、西日本旅客鉄道株式会社が年度内着工の意向を固め、運輸省に工事認可の申請がなされております。更に、高規格道路については、先に京奈和自動車道と紀勢自動車

道が第四次全国総合開発計画に位置づけられたが、今回、紀勢自動車道が国土幹線自動車道として指定され、同建設法により整備されることとなりました。このように、懸案であった高速交通網の整備が実現に向けて大きく前進し、新たな局面を迎えております。

また、交通網整備の着実な進展は、桃山工業用地への先端産業の一翼を担う企業二社の進出決定や、来秋の開催が決定している日本文化デザイン会議の開催地準備委員会の発足、更に紀南の海洋開発の核となるマリノベーションの地域指定の決定など、他のプロジェクトの促進にも大きな弾みをつけております。

まさに、本県は今、これまでの県民一体となった努力が実り、テクノ&リゾート和歌山の実現に向けて重要な局面を迎えていると認識しております。

こうした時局に当たり、私は、議員各位をはじめ関係機関との連携をより緊密にし、また、県民のご理解とご支援をいただきながら確かな展望に基づき、「実行の県政」を更に進めてまいりたいと考えております。

質疑・一般質問

関空と和歌山との交通アクセス

○南海電鉄との協調
南海電鉄と本県は、明治36年和歌山市駅難波間が開通以来、本県と大阪都市圏を結ぶ鉄道幹線として、また、現在建設中の関西国際

空港とを結びつけるアクセスとして、本県の生命線とも言える路線で、南海本線、南海高野線等の時間短縮と利便性向上は、本県活性化のためぜひ必要と考え、関係者のご配慮を常々お願いしてきた。

本県が展開しようとしているコスモパーク加太等のプロジェクト推進や、高野山、南紀熊野地方の活用等県勢活性化のため、南海電鉄及び同グループの積極的な協力を要請するとともに、南海電鉄と和歌山県はよきパートナーとして、今後一層の協調を図ってきたい。

○近畿自動車道と和歌山線及び第二阪和国道、岬加太港線
近畿自動車道と和歌山線については、松原市から阪南町間45・1kmが未供用であり、昭和53年度から日本道路公団により事業が進められている。その進捗状況は、現在用地買収が約88%まで進み、埋蔵文化財調査についても、24遺跡のうち既に13遺跡の調査が終わり、現在7遺跡の調査が進められている。

文化財調査のために県からも3名の職員を派遣して調査の促進を図っている。工事については、62%に当たる27・8kmについて着工している。特に、松原・美原間2・7km、岸和田・阪南間23・0kmについては、一部用地未解決部分はあるが、全区間工事発注がなされた二区間については、昭和60年代半ばまでは供用されるものと思われる。空港連絡線については、立入り許可の得られない一部を除いて用地測量が進められており、間もなく用地買収に入る段階にある

と聞いている。これら和歌山線、空港連絡線ともに関西国際空港開港供用を目前に建設が進められており、開港時までに供用できるものと期待している。

第二阪和国道については、本日（9月16日）、建設省から計画原案が正式に和歌山県と大阪府に提示されることになっている。今後は、この路線の早期実現に向け、年度内に都市計画決定して、来年度より和歌山側からも事業化されるよう国に強く要望している。全体事業費は約一、一〇〇億円という大事業となるため、空港開港時までの全線完成は困難であると思われるが、早期完成に合わせ効果的な部分供用が図られるよう今後も強く国に働きかけていきたい。

岬加太港線の計画については、県内では現在大型車が通れない大川峠区間はトンネルの計画とし、昭和61年度より事業に着手しており、一方、大阪府域については、小島地内に一部狭隘区間が残っているが、この区間については、昭和63年度から事業に着手されることになっている。

これら府県間の路線については、阪和開港連絡協議会、その他あらゆる機会を通じて大阪府に協力要請を行っており、岬加太港線は、加太コスモパークのためにも空港開港時を目前に整備を図ることとしている。

県民総ボランティア運動



動を呼びかけ、県内で多くのボランティアの皆さんが活躍しています。

施設を訪れ老人、障害者・児のお世話をするグループ、ひとり暮らしや寝たきりの老人を訪問するグループ、地域の子どもの会のお世話をするグループ、街の清掃に励むグループ……。

きっとあなたにもできることがあるはず。身近なことから始めませんか、ボランティア活動を。各市町村にはそれぞれ社会福祉協議会やボランティア連絡協議会があります。電話をしてみてください。

私たちの手で

ボランティア活動は、恵まれない人たちに何かをしてあげるといえるのではなく、お互いの幸せを求めて、私たちの暮らす社会を私たちの手で明るく住みやすいものに変えていく活動です。自ら進んで身近な活動に参加する運動です。

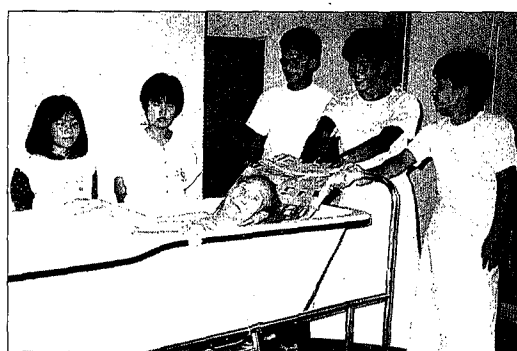
社会が複雑になるにつれ、より心のかよったサービスが求められるようになり、県でも様々な事業を行っています。中でも様々な事業の中核として、また施設と地域の結び役として、あなたの手助けが必要です。

あなたもボランティアに

あなたの「心」と「手」をお貸しください。

県では、県民総ボランティア運

実際に来てみると、とても明るいのでびっくりしました。他の人たちにもこういう行事にぜひ参加してほしいですね。こう話してくれました。



活動の拠点 ボランティアサロン

和歌山市にある日赤会館。この2階の一室はボランティアグループに開放されています。ボランティアグループの活動の拠点としての願いをこめてのものです。

色々なグループが集まり活動しています。

「布のハーモニ」。このグループはパッチワークに取り組み、作品でバザーを開きます。バザーの収益金は施設へのプレゼント資金。

参加者の方は、「ここに来ると仲間に来て楽しいし、自分の作品でボランティア活動に参加しているという充実感があります。でも、和歌山の人は少し消極的

ですね。グループには県外から引越して来た人のほうが多いくらいで。それに若い人も少ない。恥ずかしがり屋なのですね。いいことをするのに恥ずかしがることはない。もっと大勢参加してほしいですね。」と話していました。



学校みんなでボランティア

幼稚園・保育所から高等学校までの児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高める目的で、県下51校を社会福祉協力校として指定しています。社会福祉協力校では、社会福祉施設の訪問や地域社会への奉仕活動を通じて積極的に社会奉仕体験を行っています。

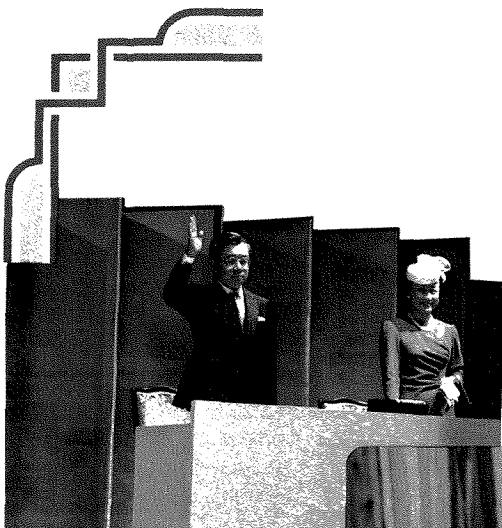
青少年にボランティア活動を体験してもらうこと。とても大切なことです。

写真は、町内の清掃活動をしている社会福祉協力校、和歌山市のむつみ保育園のみさんです。



北方領土
返るまで消すな
領土に世論の灯

ようこそ 秋の紀州路へ



J C 全国会員大会



高野山



県立自然博物館

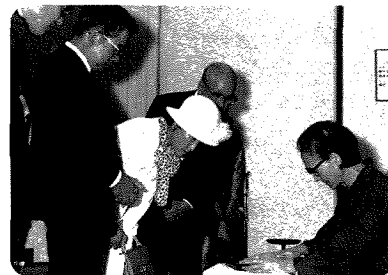


木工木製品開発研究施設

龍神村立木造体育館



つわぶき授産工場



紀州漆器伝統産業会館

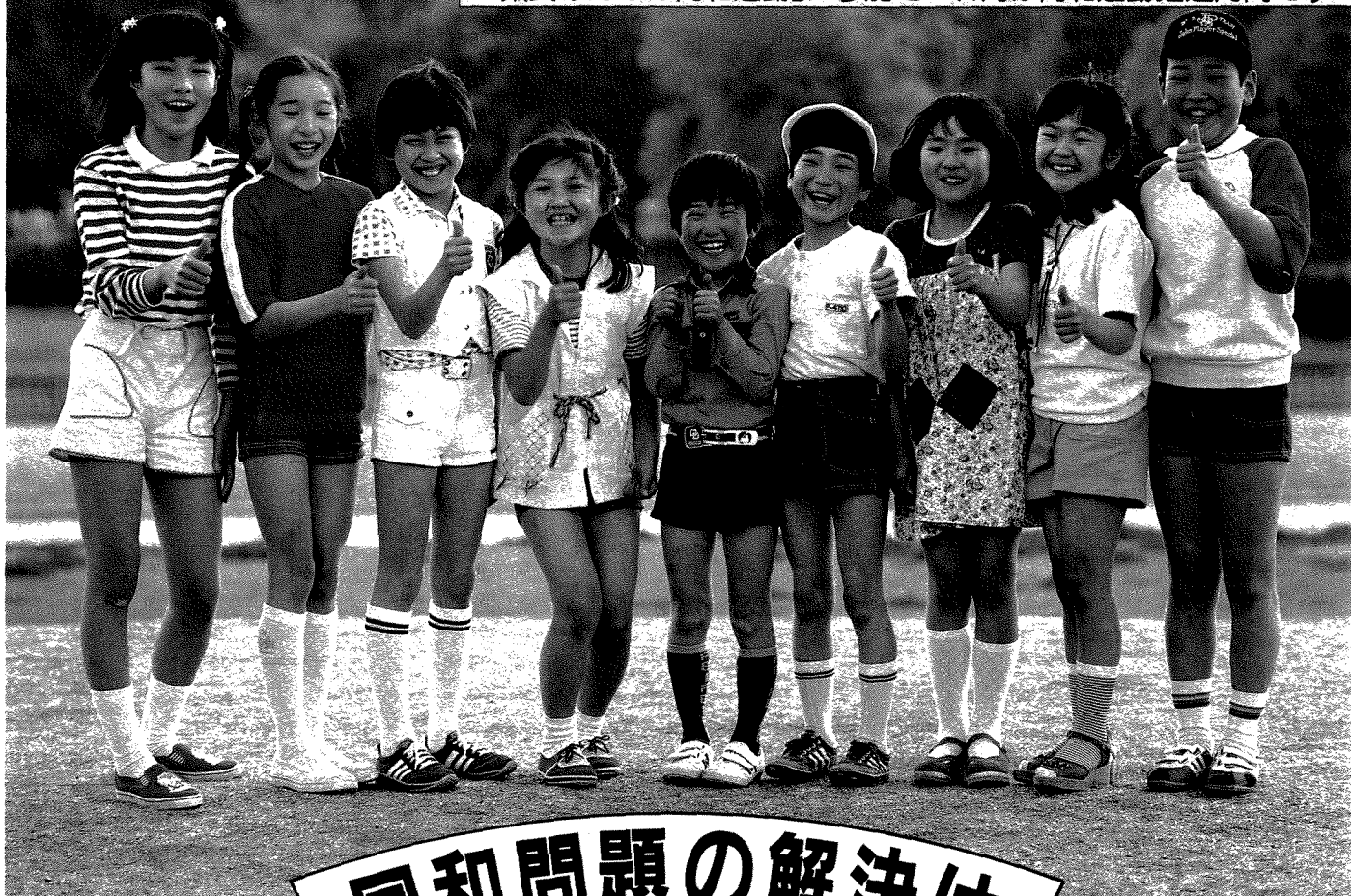


天神崎

常陸宮殿下・常陸宮妃殿下が10月2日から10月5日の4日間、日本青年会議所第36回全国会員大会にご臨席と県下のご視察のため来県され、秋の紀州路を満喫。やさしい笑顔を各地に残されました。

なくそう差別みんな一つの輪になって

「県民みんなの同和運動」に参加を / 11月は同和運動推進月間です



同和問題の解決は わたしたちの課題です

本年4月、新しく“地域改善対策特定事業に係る国の
財政上の特別措置に関する法律”が制定施行されました。

従来の施策による成果と反省の上に立って、なお残されている問題
を解決するために、昭和67年3月31日までの5カ年間の時限立法と
して制定されました。

同和問題の早期完全解決を図るために残されている課題を「和歌山県
同和対策総合推進計画」にもとづき、解決することが重要です。

県民のみなさん、みんな一つの輪になって長い部落差別の歴史に
終止符をうつため、最善の努力をしましょう。

和歌山県同和委員会

同和問題を子どももの世代に持ち越さないために

知・徳・体 調和のとれた子どもを育てよう

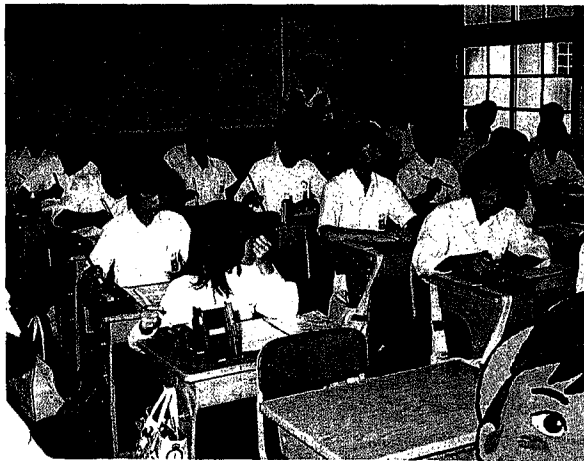
● 県民の98・4%が同和問題について知っています。しかしまだ、すべての県民が同和問題を正しく認識しているとはいえません。

● 子どもたちは、周囲の大人から間違った知識を身につけていることがあります。そうした偏見を取り除き、同和問題を正しく認識するために啓発活動、同和教育が行われています。

● 家庭や地域での啓発活動は、同和委員会が関係者の協力を得ながら積極的に推進しています。

● 子どもたちは同和教育を受けることによって、同和問題についての科学的知識だけではなく、合理的なものと考え方や、社会連帯意識、差別を許さない正義感の身に付け、自らの課題として同和問題を解決しようとする人間に育っていきます。

● 同和問題についての科学的知識は学校で教えられます。そして、合理的精神や社会連帯意識、人権感覚や正義感を育てることは、学校教育とともに、社会教育や家庭教育の課題です。



● 学校の同和教育は、学校教育の主体性のもとに、家庭や地域社会、行政機関との連携、協力を得て、力強くすすめられるのです。

和歌山県同和教育基本方針 (抜粋)

実践の立場

同和教育をすすめるにあたっては、憲法並びに教育基本法の精神に基づき、教育の政治的中立を守り、差別の事実を即し、立ち場や考え方のちがいをこえて一致点を見いだし、実践につとめる。

別記

学校教育においては、特に次の事項に留意する。

- (1) すべての学校にあつては、それぞれの地域の教育課題を明らかにし、具体的な教育計画をたて、全職員が全教育活動をおして、同和教育を推進すること。
- (2) 同和教育は、幼・小・中・高等学校一貫して行なわれること。
- (3) 学校の教育指導計画のなかに同和教育を位置づけ、幼児・児童・生徒の発達段階に応じて計画的・継続的に学習が深まるよう指導計画をたてること。
- (4) すべての学校にあつては、社会教育との関係を密接にし、学校教育の主体性において、家庭、地域社会、各種行政機関等との連携、協力のもとに、同和教育を推進すること。
- (5) 同和地区をもつ学校にあつては、特に地域、家庭、児童・生徒の願いや実態をじゅうぶん把握し、学力向上、生徒指導、進路指導等の充実につとめること。

自由なる意見交換の場として

「婦人、青年同和運動実践連絡会」に参加して、人権問題、人間関係など、あなたの悩みについてみんなで話し合い解決に取り組みまし

結婚について考えよう

♥若者にとって結婚は、期待と感動に満ちた将来への出発点です。

未来に向って、夢多き幸福が何人にも保障されなければなりません。

♥同和問題の解決が進むなかで、結婚問題についても明るい展望がひらけつつありますが、現実には関係地区出身であるがゆえに結婚できないという事例もあります。

♥青年よ、正しい認識のもと、差別を乗り越えて幸福な結婚を推進しましょう。

♥結婚は、憲法第24条で完全に保障されているのです。結婚に際しては、身元調査や釣書の交換等が行われますが、大切なことは二人の合意です。



日本国憲法

第二四条 家族生活における個人の尊厳と両性の平等

①婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

②配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。



結婚の状況

区 分	夫婦とも	夫は地区	夫は地区外
	地区の生まれ	妻は地区外の生まれ	妻は地区の生まれ
30歳未満	40.7%	54.2%	5.0%

(昭和60年度 地域啓発等実態調査和歌山県分)

活動しています
それぞれの立場、地域で

青年の同和運動について

同和問題の解決に果たす青年の役割は誠に大きく、青年同和運動実践連絡会の組織強化をはかり、実践活動体制の確立と充実に努めています。



○青年同和運動実践連絡会代表者会議を開催して、連絡協調を深めるとともに青年層の連帯性を高める体制づくりをすすめています。

○青年同和運動実践連絡会指導者研修会を開催して、すぐれた指導者の育成に努めています。

○各青年団体に同和問題を正しく位置づけ、青年層が自主的・主体的に実践活動を展開する体制づくりに努めています。

○地区青年指導者研修会を開催して、指導者の育成と青年の自主

よう。県民みんなが一つの輪になった仲間の集まりなのです。

21世紀を担う青年よ!

同和問題について、正しい理解と認識をもち、新しい人生に限りなき希望をもって出発しましょう。

今こそお母さんの季節です

家庭・地域・職場で、あなたをぬきにして
同和問題の解決はありません

1. 社会性を高めよう

○あなたの何気ない言動が、まわりにどんな影響があるかを考えながら生活しましょう。

○単なる見かけやうわさだけで他人を評価することはやめましょう。

○多くの人との交わりを通じて人格を尊重し合い、自らの社会性を高めましょう。

2. 次代を担う子どもを育てよう

○子どもたちは日常生活のなかで、親の態度をとり入れながら成長していくものです。

○しっかりと正しい考え方を持つ子どもに育てていきますか。

○社会生活の基本的ルールを身につけた子どもに育てていきますか。

○相手の立場を理解・尊重する、心豊かな子どもに育てていきますか。



3. 今すぐ実践しよう

○同和問題を学習する会には、一人でも多くの人をさそって参加しましょう。

○人権の尊さを学び、日常生活でのさまざまな人権侵害も見逃さないようつとめましょう。

○「たてまえ」と「ほんね」を使い分けず、同和問題を「自らの課題」として取り組みましょう。



婦人の同和運動について

○地区青年代表者会議を開催して、地域活動推進の後継者づくりに努めています。

○地方同和委員会とともに、各地方別に地区青年の組織化をすすめ、研修会等を開催して、自立意識の高揚と実践活動の推進に努めています。

和歌山県婦人同和運動実践連絡協議会と常に連携を密にして、共催活動を積極的に推進し、婦人の同和問題に対する理解認識と実践活動の充実強化に努めています。

特に、婦人が果たす使命と役割を明確にして、家庭における同和教育に重点をおいた婦人総参加の同和運動を展開し、効率的な実践活動の推進に努めています。



○各婦人団体が同和問題解決について正しく明るい展望を持って自主的、主体的に同和運動の輪を広げられるよう努めています。

○本年度は、「和歌山県婦人同和運動実践大会」を開催して、県下の婦人同和運動実践連絡会指導者が一堂に会し、家庭・地域・職場において婦人が果たす役割を明らかにして、実践活動がより一層積極的に展開するよう努めています。

○婦人同和運動実践連絡会代表者



お父さん頑張って!!

○一家を支えて、仕事に精出すお父さん。家族はみんなお父さんに感謝しています。

○忙しくても、職場での研修で、同和問題についての認識を、深め高められているお父さん、何か疑問はありませんか？胸にしまっておいては、モヤモヤは消えません、同じ職場での研修責任者に卒直に疑問をおつつけて、納得するまで話し合って、スッキリしてください。

○かわいいお子さんは、一年生から人権問題について教育を受け六年生になって、同和問題について学習を始めます。

家庭でのだんらんの場で、子どもさんから、いろいろな質問が出ることでしよう。家族から頼りにされているお父さん。さすが…と的確な答えを出してください。



○あなたの職場や地域社会、家庭において、同和問題について、納得のいく学習をすること…そのことが、同和問題解決への、大切な第一歩なのです。

めています。

○婦人同和運動実践連絡会代表者会議を開催して、効率的な運動の推進に努めています。

○婦人同和運動実践連絡会指導者研修会を開催して、指導者の育成と組織の強化並びに実践活動の充実に努めています。

○地区婦人指導者研修会を地方別に開催して、婦人活動の充実と自立意識の向上に努めています。

同和教育父母教室

お父さん、お母さんのための同和問題についての学習会です。小学校六年生の社会科の時間で子どもたちが、同和問題について勉強をしています。

お父さんやお母さんたちにも正しく同和問題を理解していただき家庭において、同和問題について、みんなで話し合い、認識を深めていただけることをねらいとして、小学校六年生の父母等を対象として、本年度、県下で三一〇教室を開設しています。

この事業は、同和問題に関する県民意識調査の結果、家庭における同和教育がより大切であることから、昭和五十五年より開設を始めたものです。PTA等多くの皆さんから、同和教育を推進する上で大変効果ある事業と好評を得ています。

なお、詳しくは、市町村教育委員会にお問い合わせください。

企業内同和問題

研修推進員制度

和歌山県下に、三十人以上の従業員を有する企業は、昭和六十一年度末で一、一三三社あり、そのうち、昭和五十三年より企業内同

おじいさん おばあさん 今、あなたの役割が大切です

高齢化社会のなかで同和問題解決は
あなたの生き方にかかっているのです

考える おとしより

●身のまわりをよく点検し、じっくり考
えてみませんか。

●過去の経験や知識は大切です。しかし、
その中に、誤った偏見がまぎれこんでい
ると大変です。その偏見が、部落差別を
残してしまうからです。

学ぶ おとしより

●生涯学習の時代です。同和学習をより
深め、正しく理解しましょう。

●おとしよりは、ややもすると自分の「カ
ラ」と同じこもりがちになります。

時代とともに、豊かに生きるため、あ
らゆる学習をとおして、しなやかな心を
育てましょう。

実践する おとしより

●学習を生活の場に生かすため、すすんで
社会参加に努め、多くの人々との交流を



とおして、こだわりのない人間関係をつ
くりましょう。

●人は一人では生きられません。お互い
が信じあい、支えあって、思いやりの輪
をひろげながら共に生きましょう。

同和問題を解決することは、すべての
おとしよりの幸福につながります。

老年人口

65～69歳	男19,228	女26,774	46,002人
70～74歳	男16,338	女24,028	40,366人
75～79歳	男11,870	女18,262	30,132人
80～84歳			17,402人 (男6,581 女10,821)
85～89歳			7,467人 (男2,579 女4,888)
90～94歳			1,898人 (男574 女1,324)
95～99歳			243人 (男61 女182)
100歳以上			23人 (男9 女14)

和歌山県			
A 人口	1,087,206人 (昭和60年国勢調査)		1,091,505人 (昭和62年4月1日 県老人福祉課調べ)
	(同 上)		(同 上)
B 老年人口 (65歳以上)	143,533人 (同 上)		149,589人 (同 上)
C 老年人口割合 (B/A)	13.2% (同 上)		13.7% (同 上)
人口の将来推計	(昭和61年和歌山県長期総合計画)		
	昭和65年	昭和70年	昭和75年
人口	1,095,000人	1,126,000人	1,152,000人
老年人口	159,000人	186,000人	210,000人
老年人口割合	14.5%	16.5%	18.2%

和問題研修推進員が一、〇六六社
に設置され、「雇用に際し、差別の
ない適正な人事」と「同和問題を
解決していくうえでの、企業の果
たす役割」に視点を置き、取り組
んでいます。

「地対財特法」5カ年の 期限内完全解決をめざし 県民みんなで取り組もう

1. 啓発活動について

県民の同和問題に対する理解、認識は年々深まってきましたが、今なお、差別事件が発生しています。したがって、同和教育や啓発活動をより積極的に推進しなければなりません。

2. 教育対策について

現在までの諸施策の結果、地方によっては、学力や高校進学率において、全体と地区生徒の差がほとんどなくなった地域もありますが、県下全体を平均しますと、依然、差が存在しているのが現状です。したがって、経済基盤の問題や就労の問題など、教育と密接に関係する様々な課題の解決と、教育対策を充実していかなければなりません。

3. 産業職業対策について

関係地区の商工業は、生業的小規模零細事業所が多く、また、就労形態においても不安定な状況にあります。したがって、産業職業対策を積極的に推進することが重要です。

4. 福祉衛生対策について

関係地区における福祉衛生の状況は、相当改善されてきましたが、今後は特に、低所得者対策や健康医療対策を積極的に推進しなければなりません。

5. 住環境整備について

関係地区の住環境は、相当改善されてきました。しかし、大規模地区を中心とした住環境整備等が残されており、計画事業の法期限内完了を図らなければなりません。

これらの残されている課題を解決するために、新らしく法律が制定され、財政上の特別措置が講じられています。同和対策は周辺地域との整合性を大切にしながら、差別のない明るいまちづくりに取り組んでいます。

無料貸し出し

啓発映画フィルム

光の輪

51年度 16ミリ・32分

出演 吉田純子、山村弘三、ほか

明日の太陽

52年度 16ミリ・45分

出演 長門勇、田中由香

野口ふみえ、ほか

いのちは緑なれば

53年度 16ミリ・46分

出演 大木実、佐々木愛、金親保雄、ほか



陽のあたる町

54年度 16ミリ・50分

出演 清水めぐみ、大和田隼、ほか

この愛をあなたに

55年度 16ミリ・50分

出演 早乙女愛、矢吹二郎、滝田裕介、ほか

明日こそ素晴らしい

56年度 16ミリ・50分

出演 佐野浅夫、清水章吾、紀比呂子、吉田義夫、ほか

私たちは今...

57年度 16ミリ・50分

出演 新克利、執行佐智子

青春

58年度 16ミリ・55分

出演 三條美紀、千葉敏郎、利倉亮、草川祐馬、ほか

木村四郎、山本郁子、ほか

故郷に風が光る

59年度 16ミリ・55分

出演 菅井きん、風見章子、吉澤京子、小松方正、ほか



「地対財特法」

地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律

地域改善対策特別措置法が昭和六十二年三月三十一日をもって失効したことに伴い、過去十八年間の成果と反省の上に立つて見直しの結果事業が残されており、真に必要な事業に限って財政上の特別措置を講ずるため地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律が昭和六十二年四月一日から昭和六十七年三月三十一日までの五年間の時限法として制定されました。

同和運動推進作文募集

趣旨 同和運動推進月間行事の一環として、和歌山県下の児童・生徒に対し、「同和問題について」の作文募集を通じ、同和問題に対する理解と認識を高めることを目的として実施します。実施期間 昭和62年11月1日～昭和62年11月30日

対象者 和歌山県下の児童・生徒（小・中・高等学校・特殊教育諸学校）

主催者および応募先 市町村同和委員会、地方同和委員会、県同和委員会 作文テーマ 同和問題に関する内容とし、小学校低学年については、各学校で設定してください。応募方法 400字詰原稿用紙3～5枚

選考 主催者側が委嘱する審査員において決定します。発表 入選作文については「作文集12」を発刊し発表にできます。機関紙「同和」にも発表します。その他 ①応募作品は返却しません。②入選作品の著作権は主催者側に帰属し、啓発用教材として使用します。③作品は未発表の創作に限ります。

同和運動推進ポスター募集

趣旨 同和運動推進月間行事の一環として、県民一人ひとりに同和運動の輪をひろげ、同和問題に対する理解と認識を高めることを目的として実施します。実施期間 昭和62年11月1日～昭和62年11月30日 対象者 県民一般および県下の児童・生徒（小・中・高等学校・特殊教育諸学校）

主催者および応募先 市町村同和委員会、地方同和委員会、県同和委員会 テーマ 同和問題について

①このテーマに基づいて社会に提言するポスターを製作してください。②ポスターに入れる標語は下記のものを使用してください。●なくそう差別 みんな一つの輪になって ●まもう人権 なくそう差別

規格 スペース（B3）使用材料は自由。児童・生徒が応募する場合は、学校側で統一してください。選考 主催者側が委嘱する審査員において決定します。発表 入選作品については、機関紙「同和」に発表。優秀作品については、次年度の啓発用ポスターとして使用します。その他 ①応募作品は原則として返却しません。②入選作品の著作権は主催者側に帰属します。③作品は未発表の創作に限ります。



同和問題を解決していくうえで、家庭における同和教育は重要ですが、現実に日常生活の中で、どのように実践され生かされているかを、三つの家庭と、家庭の中での子ども・父母・祖父母の同和問題を取り上げて、同和問題の解決に努力している姿と課題を描いています。

主題歌………さとう 山磯中野内
田村村川沢
宗ス み 嘉 由
幸ミ ど り 律 美
子 子 雄 子 豊



テレビ和歌山で放送！

11月1日(日) 午後5時から
11月5日(木) 午後7時から

16ミリ・カラー・55分
お母さんの季節 浩介の日記より

啓発小冊子

お申し込み、お問い合わせは県同和委員会へ

同和問題十章

一同和叢書第一集—
藤範あきら著 定価150円 送料170円

おかあさんの同和教育

一同和叢書第二集—
藤範あきら著 定価100円 送料170円

同和対策審議会答申

定価100円 送料170円

同和問題における差別

一特に逆差別という差別について—
定価100円 送料170円

同和問題の歴史

一同和叢書第三集—
藤範あきら著 定価150円 送料170円

同和問題の認識

一同和問題解決への手引き・1—
定価100円 送料120円

差別事件の処理について

一同和問題解決への手引き・2—
定価100円 送料120円

改訂版行政實務と国民課題

一同和問題解決への結集—
定価600円 送料250円

中学生作文集

一同和問題について—
定価150円 送料120円

差別をなくす運動を

一小・中・高校生作文集・2—
定価150円 送料170円

差別と人権

一小・中・高校生作文集・3—
定価150円 送料170円

つなごう心の輪

一小・中・高校生作文集・4—
定価100円 送料120円

差別をなくしていくために

一小・中・高校生作文集・5—
定価100円 送料170円

すばらしい未来に向かって

一小・中学生作文集・6—
定価100円 送料170円

部落差別と私の決意

一小・中・高校生作文集・7—
定価150円 送料170円

ともだち

一小・中・高校生作文集・8—
定価150円 送料170円

よみがえる笑顔

一小・中・高校生作文集・9—
定価100円 送料170円

みんななかま

一小・中・高校生作文集・10—
定価100円 送料170円

すなおに

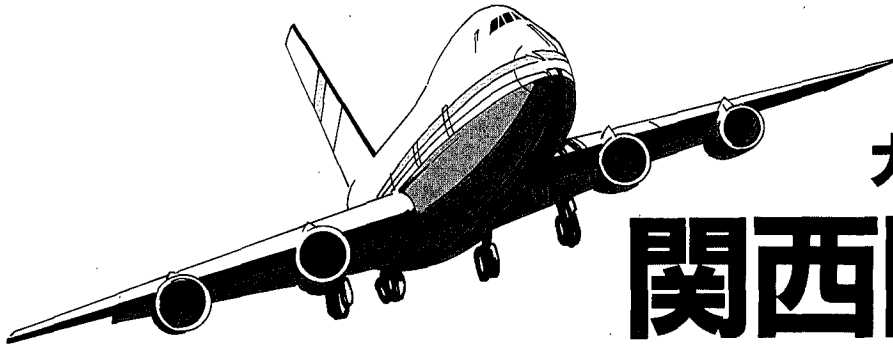
一小・中・高校生作文集・11—
定価100円 送料170円

お申し込み
お問い合わせは

和歌山県同和委員会

〒640 和歌山市小松原通1-1
☎0734-32-4111 内線3119・3120

または各県事務所内 各地方同和委員会



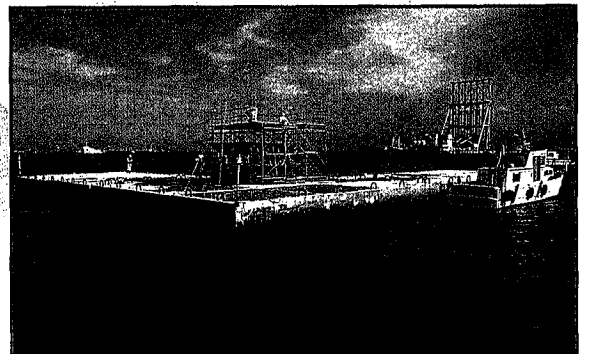
カメラルポ 関西国際空港

昭和68年3月の一番機を目指し、いま泉南沖では関西国際空港の工事が進められていますが、山の向こうの大阪府だとはいえ本県にとっても、空港本体と同時に近畿自動車道と歌山線、土取り工事とその進ちょく状況に関心ではられません。

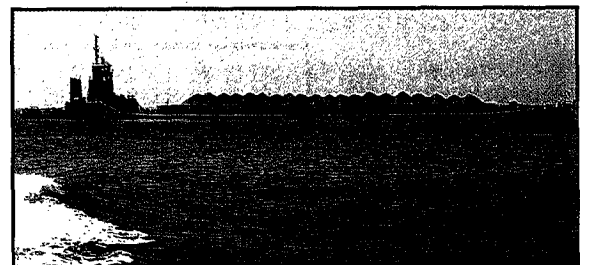
今回、その3つの現場をたずねカメラルポをしてきました。

空港海域

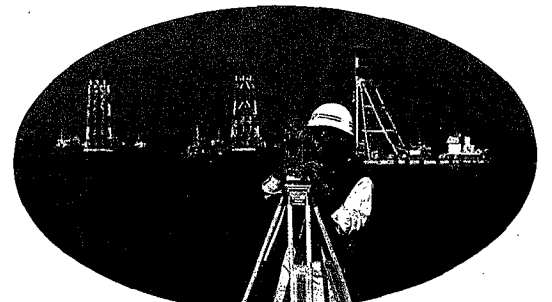
岸和田港から高速艇に乗ること30分。そこはさまざまな作業船、運搬船がひしめく海だった。



初めて姿を見せた海上部分（空港南西角の護岸部分）



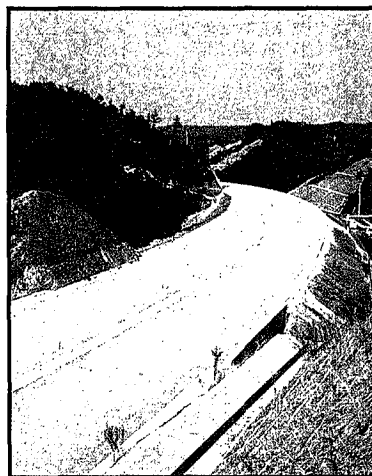
順を待つ砂運搬船



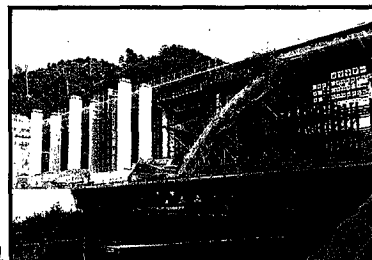
測量も海が相手で大変だ

近畿自動車道 和歌山線

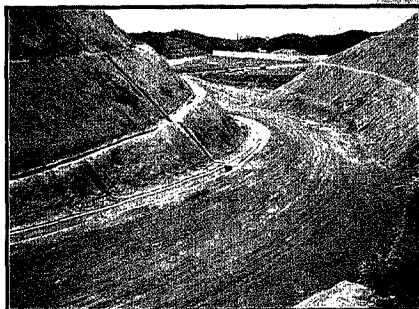
岸和田～阪南間64年度末供用開始、岸和田～松原間66年度中開通を目指し、着々と工事が進む。



熊取周辺

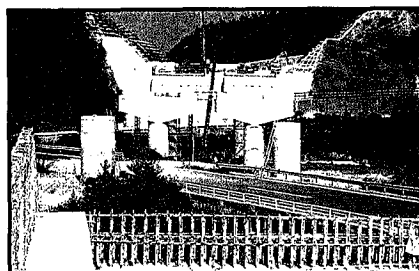


貝塚周辺



土取り現場への 進入路

——和歌山市加太——



阪南インター周辺

催し

県庁・県教育庁は

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団 11月27日 午後6時30分 大ホール S席6,800円 A席5,000円 B席4,000円 C席2,500円 D席1,500円
母と子の名作劇場 劇団俳協「安寿と厨子王」
12月5日 午後2時 大ホール 整理券

県立近代美術館 ☎(0734)36-1331

県美術展覧会 第Ⅱ期=11月12日～16日 第Ⅲ期=11月19日～23日

県立博物館 ☎(0734)23-2467

特別展「神々のかたち——仮面と神像」 11月23日まで 一般500円 大・高生300円 小・中生100円

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「寄せ植（正月用）の作り方」12月13日 定員40人（先着順）
盆栽展 11月21日～23日
緑化フェスティバル 11月22日～23日

紀南文化会館 ☎(0739)25-3033

母と子の名作劇場 劇団俳協「安寿と厨子王」
12月6日 午後2時 大ホール 整理券

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～土曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕▶県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ▶東牟婁県事務所 毎月第1、3土曜日 受付 午前9時～10時

〔巡回相談〕▶西牟婁県事務所 11月17日 ▶伊都県事務所 11月25日 ▶日高県事務所 12月7日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月～土曜日

場所 県民総合相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日

受付 午前11時まで 場所 県民総合相談室
〔移動相談〕▶熊野川町総合開発センター 11月18日 ▶清水町町民会館 12月4日 ▶橋本市古佐田区民会館 12月16日

11月11日～17日は「税を知る週間」です。

期間中、デパートなどで臨時的税務相談所を開設して税に関するいろいろな相談に応じます。

くわしくは各税務署へ

おしらせ

県立高等学校授業料の口座振替

昭和63年4月から県立高等学校の授業料は口座振替（口座自動引き落とし）もできるようになります。

くわしくは県教育庁総務課、各県立高等学校へ

技能学校一日体験入学

日時 11月29日 午後1時
場所 県立和歌山高等技能学校

対象 離職者等中高年齢者で新たな職業につこうとする方、又は来春卒業見込みの中高生
訓練科目と体験内容 理容①頭髮の刈込と顔そり（実演説明）②第一自動車整備③運行前点検 機械④旋盤による丸棒切削（旋盤操作、刃物切削、測定説明）電子機器⑤パソコンの取扱方法⑥キーボード⑦デスクユニット、⑧プリンター ⑨第二自動車整備⑩プレキ装置の点検 縫製⑪工業用直線本縫いミシンの使い方 木工⑫小物整理棚の組立て 建築⑬木材の削り方、くぎの打ち方（木の裏表、元、末）

申込 11月20日（必着）までにハガキに住所、氏名、年齢、希望科目、電話番号、学校名（団体名）を明記し、県立和歌山高等技能学校〒640-162和歌山市小倉90 ☎(0734)77-1253へ
※理容・電子機器・縫製以外の科の方は作業衣又はトレパン、トレシャツを用意してください
くわしくは申込先へ

全国火災予防運動

11月26日～12月2日

消えたかなノ気になるあの火もう一度
火の用心七つのポイント
1、寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
2、子どもは、マッチやライターで遊ばせない。
3、風の強いときは、たき火をしない。
4、天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
5、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6、ふろの空気を燃やさない。
7、ストーブに燃えやすいものを近づけない。

県内の母子寮を存続して

母子寮は配偶者のない母子で、精神的、経済的に困窮の方の自立更生をはかる施設で、県内7カ所にあります。入寮等くわしくは各福祉事務所（和歌山市在住の方は市役所厚生課）へ

高年齢労働者等受給奨励金制度を存続して

50歳以上の雇用保険被保険者で労働大臣の指定した教育訓練を受講するために自ら入

学料、受講料を支払われ、受講修了された方に、奨励金を支給します。
支給額 入学科と受講料の合計額の半分（限度額10万円）
くわしくは和歌山総合高等職業訓練校〒640和歌山市園部1276 ☎(0734)61-5649へ

昭和62年度の個人事業税（後期分）の納期限は11月30日まで
納付はお早めにお近くの金融機関（郵便局は除く）へ。

参加しよう

子ども科学会館開催

「第4回自然博物館教室」の参加者による研究発表を聞き、自然研究の進め方やまとめ方について話し合おう
日時 11月23日 午後1時
場所 県立自然博物館
対象 小学5～中3（一般の方も席に余裕があれば、オブザーバーとして参加できます）
定員 60人（先着順）
申込 11月10日までに、往復ハガキに氏名、学校名及び学年、住所、電話番号を明記し、県立自然博物館〒642海南市船尾370-1 ☎(0734)8-3370へ

口座振替制度もご利用ください。

くわしくは県税事務所、各県事務所総務課へ
21世紀へ向けての心の健康づくり
第35回精神保健普及運動期間 11月2日～8日

試験

危険物取扱者試験

試験区分 甲種、乙種（全類）、丙種
試験日 2月7日
会場 受験票に指定
願書配布 消防試験研究センター和歌山県支部、県庁消防防災課、各県事務所総務課、各市消防本部
願書受付 12月14日～17日（当日消印有効）消防試験研究センター和歌山県支部〒640和歌山市岡山丁36番地 ☎(0734)25-3369へ
くわしくは受付先へ

融資など

●生活営農資金 事業費の80%以内、個人は250万円（特認450万円、農地等取得500万円）、法人は700万円 年利3.5%
●農林漁業同和対策融資
●生活営農資金 事業費の80%以内、個人は250万円（特認450万円、農地等取得500万円）、法人は700万円 年利3.5%
●「法令で義務づけられている」などと言って消火器を売り付ける。
●未成年者やお年寄りの判断力、知識、経験の不足につけ込む。
●脅したり、不安感を抱かせ長時間ねばる。
その他手口は多種多様しかも巧妙。オヤ」と思ったら「ずい」に県消費生活センター ☎(0734)3-11551 紀南支所 ☎(0739)22-11200へ相談してください。

●農山漁村経営改善資金

事業費の90%以内、個人は1,000万円（特認2,000万円）、漁船2,000万円、法人は3,000万円（特認6,400万円）年利3.5%
くわしくは県庁農業振興課、各県事務所産業課、農協、漁協へ

●厚生年金保険加入者の方々に住宅資金を融資します

貸付限度額 100万円～1,500万円
年利（一般住宅）4.45%
申込 11月25日までに県年金住宅福祉協会 ☎(0734)28-12400 和歌山市八番丁三ノ二 日本生命ビル内へ
くわしくは申込先へ

悪徳商法にご注意！
霊感商法だとか、アンケイト調査を装うキャッチセールスなど悪質な商法による被害が増えています。
県では具体的な取引方法を要綱に定め消費者保護に努めています。最近特に多発している次の事例に十分注意してください。
●「法令で義務づけられている」などと言って消火器を売り付ける。
●未成年者やお年寄りの判断力、知識、経験の不足につけ込む。
●脅したり、不安感を抱かせ長時間ねばる。
その他手口は多種多様しかも巧妙。オヤ」と思ったら「ずい」に県消費生活センター ☎(0734)3-11551 紀南支所 ☎(0739)22-11200へ相談してください。

木のよさをPR

10月8日、11日、新宮市で新宮ウッドイフェアが開催されました。
新宮は木の国熊野の中心都市。しかし、最近の木材産業は低迷。そこで自分たちの手で地域の資源を生かした個性豊かな街を作ろうと、木材産業のPRや木材を利用した遊びなど盛りだくさんのイベントが行われました。
10月8日の「木の日」には、新宮市内でパレードが行われ、奥小百合さんら5人のグリーンコンパニオンが道行く人に割りばしや風船を配りウッドイフェアを盛りあげました。
(新宮市)

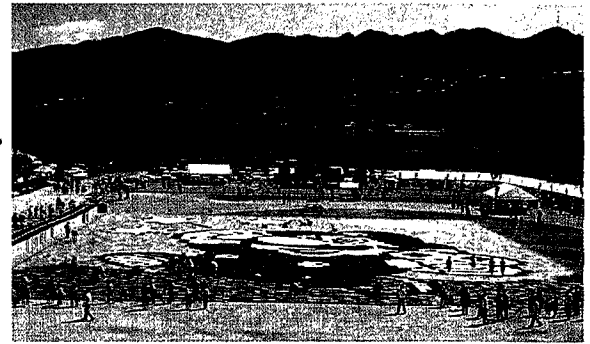


トウリマカシ! (ありがとう)

9月26日と27日、白浜町・日置川町で木の国友情計画'87が開催されました。

これは、農業青年と一般女子青年の出会いと交流の場にと企画されたイベントで、日本農業の視察に来日中のインドネシア青年23人もゲスト参加。ディスカッションやゲームで国際交流をしました。

「日本は高い技術を持つ素晴らしい国ですが、すこしコミュニケーションが少ないですね。」とルディさん。インドネシアの青年は陽気で話し好き。別れ際、「きっとまた会おう。」と言われ、思わず涙がこぼれました。
(白浜町・日置川町)



スーパーマリオ登場

9月27日、ここはパイル織物の町高野口。商工会青年部20周年を記念した「RIVER SIDEふえすていばる」のメインイベント、使ったパイル織物の座ぶとん約1万枚、縦50cm横40cmのジャンボマリオ。

野外コンサート、ヘリコプターの遊覧飛行、迷路、ふる里産品バザールなどこの日は高野口の「新秋祭り」気分。

スーパーマリオのパワーで繊維不況を吹き飛ばしてしまえ!
(高野口町)



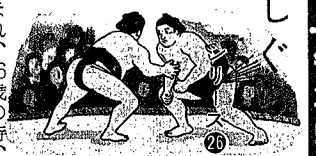
おまわりさんにも英会話

クリス・ミュージックさん。アメリカ合衆国インディアナ州出身。職業は国際交流員。彼の仕事は県の国際事業の企画立案、ビジネスマンや警察官の英会話指導など。
「開西国際空港開港後、多くの外国人が和歌山を訪れ、きっと和歌山は国際的な街になるでしょう。和歌山の国際化、これは東京や京都のまねをしちゃだめですね。和歌山のものを作らなくちゃ。あたたかい心です。今和歌山の人はとても親切です。この親切さを持ち続けることこそ和歌山の国際化を進めるうえで一番大切なことです。」彼の意見で
(和歌山市)

相撲街道まっしぐら

相生松五郎

四大関四横綱の華やかな相撲界のなか、関脇までトントン拍子にのぼった栃乃和歌。その栃乃和歌以前の和歌山県出身の関脇はというと相生松五郎になる。



明治16年、名草郡布引村に生まれ、16歳の時、大阪相撲界に弟子入り。明治41年に大関に昇進したものの、当時大阪相撲は東京相撲よりも不当に低く扱われていたため、大阪を飛び出し東京へ走った。両相撲界の対立に火を注ぐ様な冒険に、相生は命を狙われていたという。

明治43年夏に正式に東京相撲界に迎えられ、無敵といわれた太刀山相手に大勝負をする等、好成績をおさめ、44年夏場所に関脇になった。

小兵ながら腕力や突進力がずばぬけ、スピード相撲のはしりともいえる力士で、男ぶりもよく女性にも人気があったようだ。

相生以来の本県出身の幕内力士とその最高位は、前頭六枚目の高ノ山、前頭一枚目の玉石定、小結の和歌嶋、前頭五枚目の双子岩、前頭十九枚目の那智ノ山、前頭十三枚目の増己山となる。

「紀州まわし」という言葉がある程、相撲の盛んな本県にしては、もの足りないぐらいである。しかし、相生の命をかけた冒険心を受け継ぎ、相生を追い越す力士が出るのもそう遠くはないだろう。

あ と が き

表紙の取材で喜成会におじゃましました。黒板には10月の行事がびっしり。絵画、音楽、手芸教室などはボランティア活動。
この日も、カトリックボランティア会のお祝いにかけつけており、入園者も明るくにぎわっていました。喜成会には毎月14、15のグループがこられていたとのこと。
ボランティアの輪が広がっているのを感じました。